

2005年度賛助会員のみなさまに
お願ひがあります。

2005年度は、わたしたちハーブの活動へのご賛同、ご支援をありがとうございました。

みなさまのご協力により、HuRPも1周年を迎えることができました。今年は憲法公布から60年です。本年度も、日本国憲法の理念を実現するために、また社会そして世界に広げてゆくために活動してゆきたいと思います。

ぜひ本年度も賛助会員として、HuRPを支えて頂ければ幸いです。

本年度も引き続き賛助会員になって頂いた方には、2006年度の会員カードと、HuRPオリジナルポストカードセットをお送りします。

このポストカードセットは、9条ブックマークに続く、新しいHuRPオリジナルグッズです。1周年記念イベントで初めて販売し、好評をいただきました（税込価格300円）。

お友だちを紹介してください。

この「HuRP通信」は、賛助会員のみなさまに月に一度、郵便でお届けいたします。

もしみなさまの周りに、人権や平和の問題について考えていきたいという方、HuRPの活動に興味のある方、またみなさまがHuRPの活動について知らせたい！という方などがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。最新号とパンフレットをお送りします。

news: ポストカードセットできました！

3枚入りで¥300（税込）



左手前から、
「ハーブの音色を聴いて下さい」
……このハーブが奏でるのは、9条の英語訳。
「日本国憲法は、私たちのものさし」
……前文と、9条の風が、憲法全体に吹いています。
「考えるとき見るととき、鍵となるのは『9』」
……いつも鍵束に9つけて。

2005年度活動記録(パンフレット) できました！

お待たせしました！ HuRPの2005年の活動がよく分かる、パンフレットを作りました。

1周年記念祭りのときにご来場頂いた方々にはお配りしましたが、まだお手元にない方、お友達にあげたい方、イベントで紹介してくれる方、額に入れて飾りたい方……ぜひ下記HuRP事務局まで、ご一報下さい！

みなさま、HuRP通信 創刊号はいかがだったでしょうか？ ご意見・ご要望等ございましたら下記事務所宛にお寄せ下さい。

また、読者の投稿も大募集しております！ 「この問題にひとこと言いたい！」など、気になること、文章にしてお送り下さい（目安は500字前後）。

至らない点が多々あるとは存じますが、これからもどうぞよろしくお願ひします！

特定非営利活動法人「人権・平和情報センター」(HuRP: ハーブ)
Human Rights and Peace Information Center JAPAN (HuRP)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室 TEL&FAX 03-3234-3231
e-mail: hurp@sunny.ocn.ne.jp HP <http://www17.ocn.ne.jp/~hurp/>

HuRPに参加するには
……こんな方法もあります！

HuRP サポーター

入会金なし／年会費1000円

たくさんお金は出せないけれど、HuRPを少し応援したいな、という方。ご希望の方には、イベントや企画のお知らせを、メールでお送りします。NPOの企画や運営を経験したい学生さんなども大歓迎です。

賛助会員（個人）

入会金3000円／年会費3000円

HuRPの考え方を賛同します！ という方で、HuRPの活動を支えたい、または少しずつ人権や平和について勉強していきたいから、自分のベースで参加したい！ という方におすすめです！

会員証の発行、また、HuRP通信を毎月お送りします。

賛助会員（法人）

入会金5000円／年会費30000円

法人として、HuRPの考え方を賛同し、社会に還元できる活動を支援したい社長さん！ HuRPはNPO法人です（2005年1月認可）。

賛助会員へのお知らせ

2006年6月号創刊号

<http://www17.ocn.ne.jp/~hurp/>

賛助会員のみなさま、こんにちは。 HuRP通信、創刊号をお届けします！ これまでいくつかの活動内容については、ホームページでご案内・ご報告してきましたが、HuRPも2年目を迎え、ついに月1回の「会報」を発行する運びとなりました。

理事の串崎浩さんに、2年目の活動について語ってもらいました。



人権・平和情報センター（HuRP=ハーブ）は、2005年3月の誕生以来、ごくごく手探りで、かつ地道に活動してきました。

NPO法人の素人が集まり、「人権」と「平和」を軸に国を超えて、コミュニケーションできる「社会的空間」づくりを進めてきたつもりです。活動の内容はまだまだ、本来の目的とレベルに達していない状況だと思いますが、趣旨に賛同して会員になっていたいただいた方も含め、発足時よりは「法人」らしくなったのではと思っています。

ところで、HuRPができて2005年から、今年にかけての日本の政治をみると、「憲法」の平和主義の改定をめざす自民党「新憲法草案」や、それに連動する「国民投票法案」、「教育基本法改定」、そして「共謀罪」など、マスコミは市民にその実態を詳細に伝えていますが、日本国憲法下で、「人権」と「平和」を正面から否定する動きが進んでいます。

世界に目を転じるとブッシュの「イラク戦争」は、その開戦の大義も「うそ」で固められていたことが明らかになつたにもかかわらず、いまだにイラクでは平和な状態とは全く正反対に日々人の命が奪われています。ブッシュはさらに、イランなど新たな標的探しに精を出す有様です。

こうみると、絶望的なことばかりで気も重くなるのですが、しかし一方、国内で「九条の会」のような、戦争をしない国を求める動き、国際的には、アメリカの武力による政策への批判と行動など確実に「もう一つの日本と世界の動き」が起こっています。HuR

Pの活動もその「もう一つ」の力になれる日が、そう遠くない将来にくると信じています。

そのために、「まずは、一人から始める」。作家の早乙女勝元氏が、自身の戦争体験から戦争のない社会をつくるための「勇気」をこう表現ましたが、HuRPもこの時代に、会員それぞれに人が自由な意思で考え、行動できる「社会的空間」として歩んで行きたいと考えています。

2年目を迎え、歴史の証言を残すアーカイブプロジェクトを始めるとともに、会員の具体的フォーラムとして「HuRP通信」を定期的に発行することにしました。

編集は事務局が行いますが、賛助会員の方々に、読者であるとともに編集者として、参加していただきたいと思います。

ここから、新しい、そして創造的な「何か」が生まれていくことを期待しています。

2006年6月
NPO法人 HuRP理事
串崎 浩

カラダに平和を 1 — 自炊のススメ —

会員のT本さん。趣味は「自炊」。いまどき他のムッシュ消費です。この独特的な料理感覚をぜひぜひ楽しんで下さいね。ホームページでも紹介していく予定ですのでご期待下さい。それではよろしくお願いします～！

プロローグ

はじめまして、T本です。今回ひょんなことから自炊の話を書くことになりました。タイトルの「カラダに平和を — 自炊のススメ —」は、一人暮らしをしている方へのメッセージです。外食っておいしいんですね。ただ外食が習慣になると太るんですよね、特に私の場合。それにお金がかかる（こちらの方が理由として大きいですかね）。

というわけで、肉的、また経済的にも平和をもたらしましょう（『カラダは資本』←こじつけですね～）、自炊をして元気になろうというのがこのコーナーの趣旨です。

コーナーを始めるにあたり私の基本情報をお伝えしておきます。これからも参考にしてください。



- ・32歳男性、独身
- ・月～金のアルバイト（昼勤）
- ・四疊半一間、風呂なし、トイレ共同のアパート暮らし
- ・ガスコンロ×1、オーブントースターあり、給湯器なし、電子レンジなし

本当は収入とかもお伝えしたほうがいいのでしょうかが想像にお任せします。それではまた。

憲法

HuRP1周年記念祭り

9条てんこ盛り



HuRPの誕生日パーティー！ 9条てんこもりのご報告。

2006年4月23日南大塚ラバホールにて。
憲法9条にスポットライトを当て、様々な角度から「平和」について考えてみようと企画したこのお祭り。

小雨の振るなか、約80人の方が参加してくれました。
参加できなかった方、ぜひ写真で当日の雰囲気をご堪能ください！

もちろん参加してくれた会員の方々も、思い出して楽しんでくださいね。

お店を見ながら お腹もまんぞく。



「てんこ盛り」の名のとおり、
たくさんの出展ブースも今回の
お祭りの売りのひとつ！ チヂミやゆず茶、サモサなどの食事
は大人気。

上：日本イスラーム文化セン
ターのサモサ。

下：9条連の方々のお茶やバ
ンダナ。

HuRPのブースも……



上：プロフィールをはじめ設
立記念イベント、おとの社会
科見学、ま～るい世界の料理教
室のなど、設立から今日に至る
までの活動内容を紹介している
パネル。特に「松代大本營」の
レポートは多くの人が見入る力
作。

下：書籍やカップ、HuRP
が委託販売するさまざまなお
グッズ！

映像「9 NINE —憲法9条は訴える！」上映

「九条の会」呼びかけ人のメッセージや「戦争の
つくりかた」の映像版、
松元ヒロさんの「憲法く
ん」も必見です。
9条の輝きを再認識でき
た、と好評でした。



こ、この方は！



【プログラム】

- 13:00～ 開場
- 14:00～ HuRP紹介
映画「9NINE—憲法9条は
訴える！」上映
- 15:40～ 松元ヒロさんのライブ
- 17:45～ 私の9条原体験／
水島朝穂さんのトーク

ものまねをやっているうちにどんどんホンモノそっくりに。実際は流れていないので何故か、X-JAPANの「Forever Love」が聞こえてきそうな雰囲気です。
「私には理解できましまーん……」という発言は、首相の言うことか？ 松元ヒロさんの皮肉に、会場はニガイ笑いの渦。

また、日本国憲法誕生の舞台裏の再現は、参加者を釘付けに。見事なパフォーマンスに、会場から熱い拍手が贈られました。

水島少年の目に焼き付いた風景



従来、公の場所ではあまり語られることのなかった水島朝穂さんの生き立ちが明かされました。

時は1960年代。その頃の府中といえば、旧帝国陸軍燃料廠として設置された府中基地が、戦後米軍の管理下に置かれ、極東第五空軍司令部と在日米軍司令部が設置されました。

まさにその時代、水島少年の目に焼きついたのは、壁に残る銃弾の痕、悪事を働いた米兵を取り締まらない警察官などの強烈な経験でした。

付き合いの長い中崎理事のリードで、久田栄正さんとの出会いにつながるいろいろな話を「暴露」してくれた水島先生。最新著書『憲法「私」論』でも、旅の醍醐味は「道に迷うこと」と語っています。

いつもとは少し違う先生の人間像を見た感じがしました。

より詳しい報告は、HPに
アップする予定です。



Archive企画のこと

HuRPは、1945年前後から今日までに製作された、人権、平和にかかる国内外の記録映画を収集、整理し、そこに今日的解説や背景の説明、資料などを加えてあらたに編集し、デジタルアーカイブとして保存したいと考えています。

また、その上映会なども行っていきたいと考えています。

人権・平和をめぐる動向

ここでは、人権や平和に関する事件や、気になる動きをコンパクトにまとめた、ホームページの「人権・平和をめぐる動向NOW」（毎週金曜日更新）から、主なニュースをピックアップして掲載します。「いま」を把握するときの参考に。

人権 Human Rights

表現の自由を守れ！～立川反駆ビラ配布事件■無罪が一転し、東京高裁で有罪となった立川反駆ビラ配布事件の被告の弁護団は5月31日、最高裁に上告趣意書。この件ではHuRP理事長の浦部法穂教授なども声明（<http://www4.ocn.ne.jp/~tentmura/seimei4.html>）。

アムネスティが年次報告書を公表■5月23日アムネスティ本部は年次報告書を公表。多くの国で「テロとの戦い」の名の下に人権が犠牲になっていると指摘。

自宅軟禁のスチーナさんと国連事務次長が面会■5月20日、ガンバリ国連事務次長は自宅軟禁下にあるミャンマー民主化運動指導者、ウンサン・スチーナさんと面会、元気そうだったよう。

共謀罪法案、国会が緊迫■犯罪を実行しなくとも、合意しただけで罪に問える「共謀罪」新設法案は、19日の採決は見送られたが、国会での緊迫が続く。

日本など国連人権理事会に当選■5月9日、国連総会人権理事会（47カ国）の理事国選挙が行われ、日本も当選。国際人権団体から異論が出されていた中でイランは落選。米国は立候補せず。

平和 Peace

無防備地域宣言運動、全国各地ですむ■全国各地で無防備地域宣言運動がすすめられている。千葉・市川市、沖縄・竹富町、東京・日野市、東京・国立市、東京・大田区…。

国連平和構築委員会メンバー、日本など31カ国決定■国連総会は5月16日、紛争後の復興を支えるための「平和構築委員会」組織委員会のメンバーとして、日本など31カ国を確定させた。

米軍基地問題で首相・沖縄県知事が会談■5月11日、小泉首相と稲嶺・沖縄県知事が会談。米軍普天間飛行場の辺野古への移設などが進められる予定となつた。地元の反対は必至。

衆院に教育基本法特別委設置■5月11日、衆院本会議は、教育基本法「改正」案を審議する特別委員会の設置を議決。「愛国心」盛り込みなどに多くの市民が反対。

白鳥事件現地調査 第1弾！

HuRP会員有志は、下記の予定で現地取材を行います。

- ・6月16日（金）
松田忠雄さんほかへのインタビュー、国民救援会北海道支部にて資料調査。
- ・6月17日（土）
事件当日の白鳥警察の足取りを追い、村上さんの取調べが行われた警察、大通拘置所支所、旧札幌高裁などをまわり撮影。また、現地にて事件を再現し、目撃証言を検証する。

・6月18日（日）
北海道立図書館にて、当時の新聞などの資料収集。可能であれば小樽の警察署などを訪れる。

『疑わしきは被告人の利益に』。この刑事裁判における鉄則が、再審開始に關しても適用されると判断した「白鳥決定」（1975年）。

この基準が再審の門を広げ、その後4つの死刑事件が、再審で次々と無罪になったのは有名です。

では、白鳥事件そのものは、一体どんな事件だったのでしょうか。

わたしたちHuRPは、アーカイブ事業の一環で、この事件についてのDVD製作を開始します。これから数回にわたり、現地調査のレポートをしたいと思います。まずは、事件の全体像の紹介です。

事件について

1962年1月21日午後7時30分頃、札幌市南6条西16丁目の路上で白鳥一雄警部（当時38歳）が自転車に乗り帰宅途中、後ろから自転車に乗って来た男に追い抜きざまに拳銃で撃たれ即死。発砲した男は、そのまま自転車に乗って逃走。

通行人はまばらだったが、数人の目撃者がおり、その一人、北海道庁の職員は「歳は30歳前後でがっしりした体格の男がもう一台（白鳥警部）の自転車の男に話し掛けている様子だった。その後「バーン」という乾いた音がして、話し掛けられていた男が自転車とともに横倒しになった」と証言。

当時警察からマークされていた日本共産党は当初この事件への関与を否定したが、後になってこの事件を肯定する声明を出したことから、日本共産党員5名が逮捕された。取調べの結果、3名が共産党を脱党し、白鳥警部殺害の共同謀議を自供。共産党札幌地区委員会委員長であった村上国治（むらかみ・くにじ）氏が殺人罪共同共謀正犯で起訴された。

しかしながら検察側は物証に乏しく、3名の脱党者の自白調書と共産党の武装訓練場で採取された弾丸が痕跡として提出された。村上国治氏は逮捕から一貫して犯行を否認したが、1963年最高裁判所において懲役20年が確定した。

